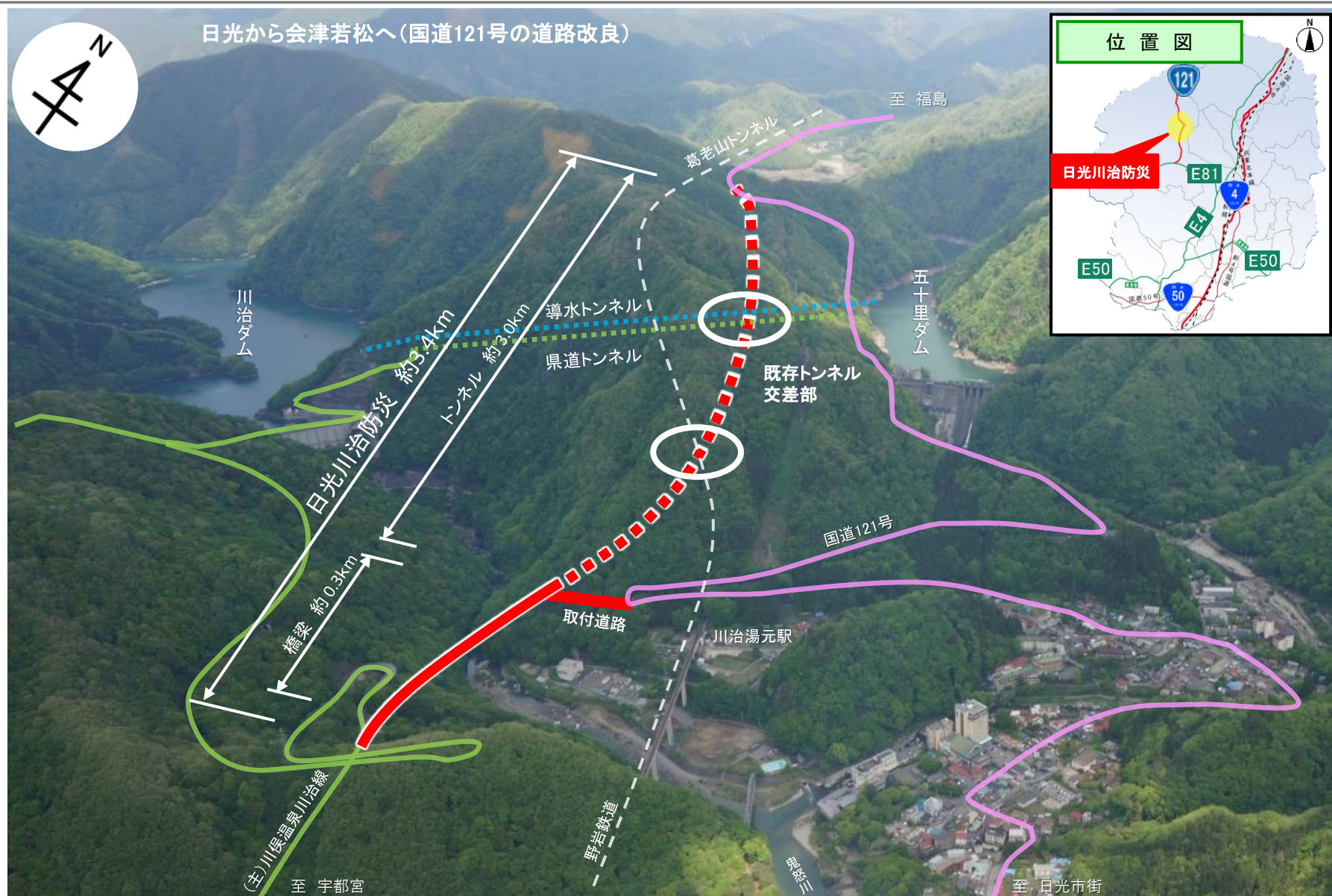


国道121号日光川治防災 連絡調整会議(第2回)

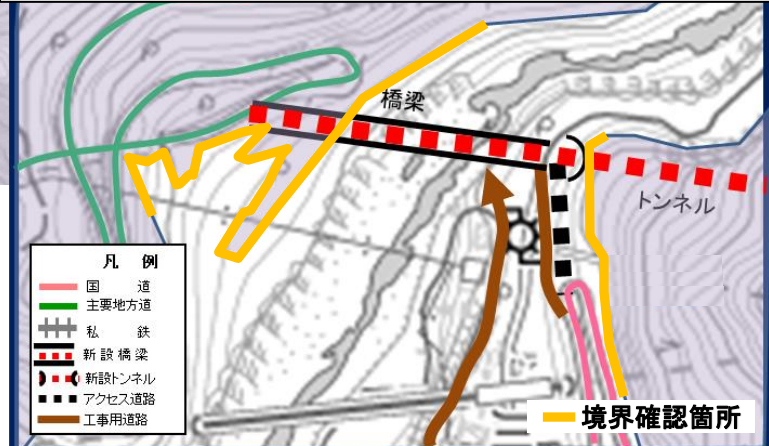
説明資料

令和7年2月13日
国土交通省関東地方整備局 宇都宮国道事務所

- 国道121号日光川治防災は、自然災害に強いネットワークの確保、走行性の改善及び観光地等における道路利用者の交通安全の確保を目的とした、栃木県日光市五十里から川治温泉川治までの延長約3.4kmの防災対策事業。



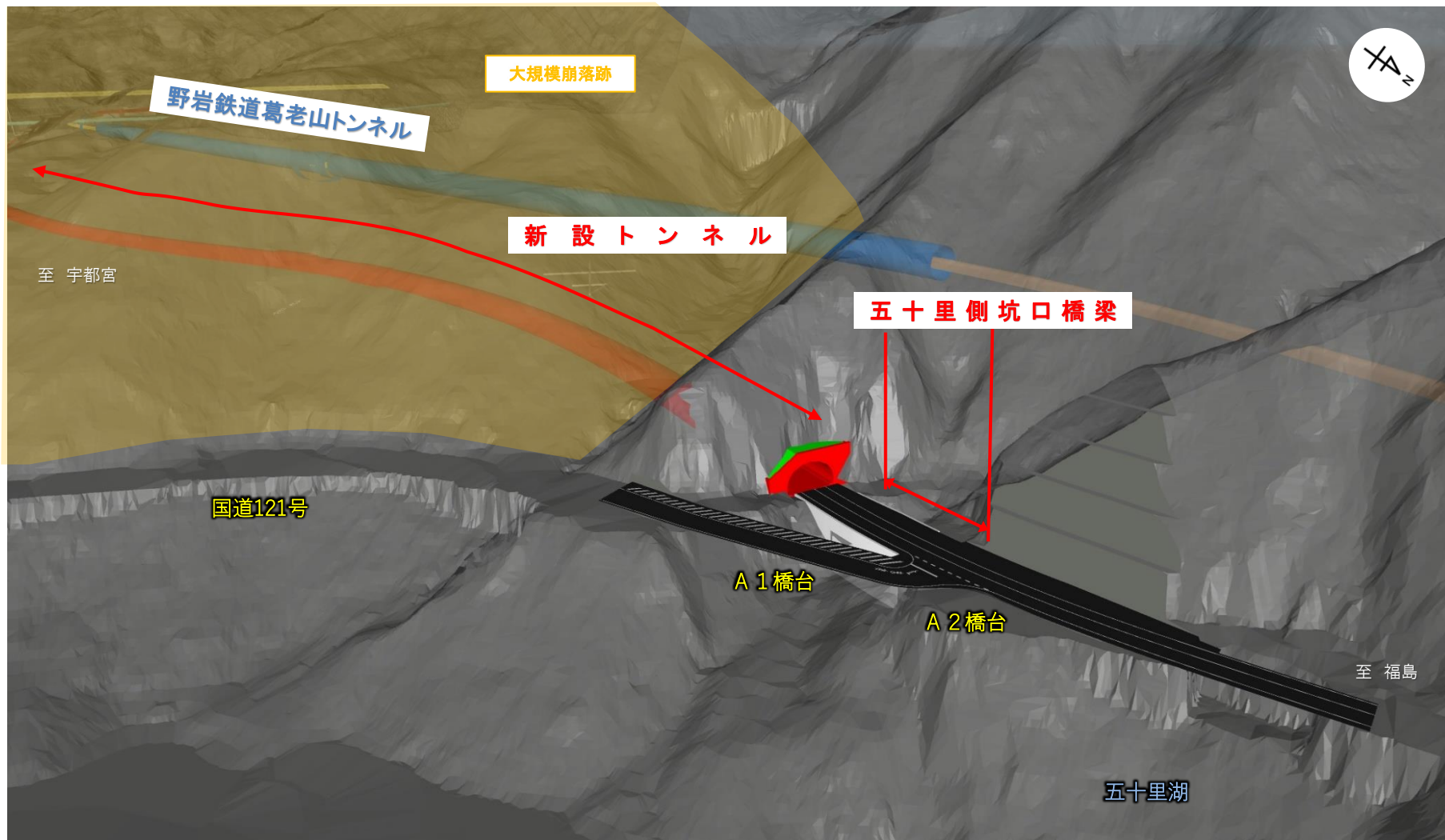
- ◇工事着手までに必要な手続き◇
- ・森林法による保安林解除に向けた手続きの促進(測量準備中)
 - ・鬼怒川渡河部の橋梁の河川法による河川協議中
 - ・自然公園法による国立公園内工作物新築許可手続き



- 道路設計や橋梁設計、トンネル設計などの結果、事業に必要な用地幅等を確定
- このほか、日光川治防災に接続する取付1号橋においても、調査設計を促進



➤ 道路設計や橋梁設計、トンネル設計などの結果、事業に必要な用地幅等を確定

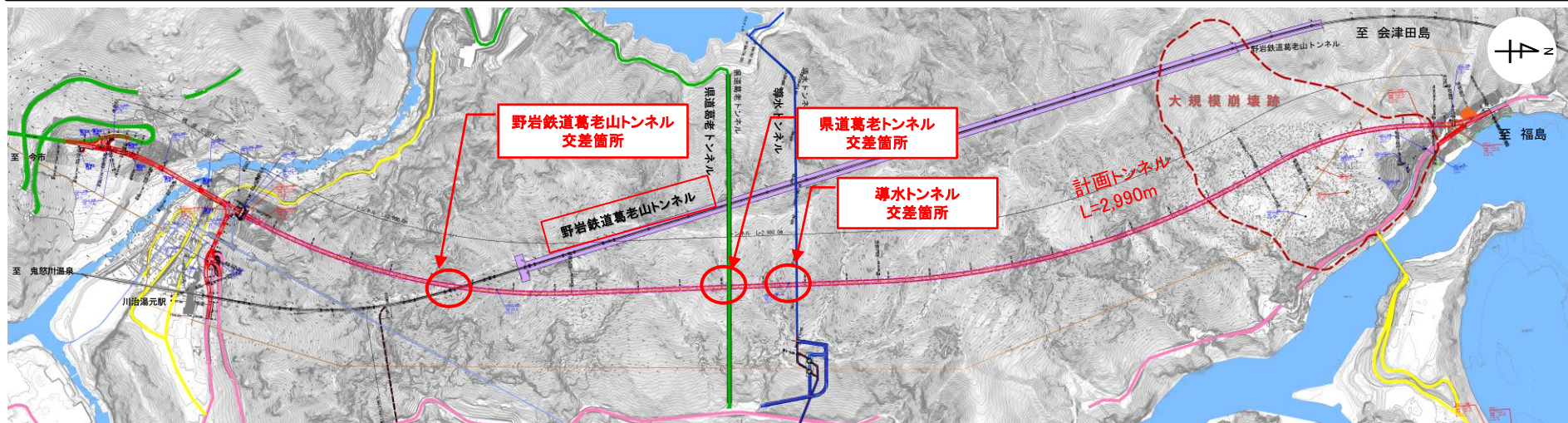


- 鬼怒川左岸のP3橋脚、橋脚施工に伴う工事用道路および取付道路は、国有保安林の区域外
- P3橋脚及び橋脚を施工するための工事用道路の早期着手に向け、鬼怒川渡河部橋梁の河川法による手続きや地元調整等を進めていく



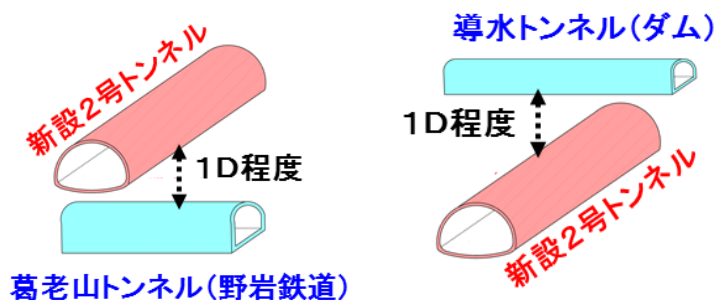
※国有保安林区域： (鬼怒川計画区 国有林野施業実施計画図 川治地区(1/20,000)よりトレース)

- 新設トンネルと極めて近接施工となる葛老山トンネル(野岩鉄道)と導水トンネル(五十里ダム)の既往書類等を確認し、既存トンネルへの影響を考慮した施工方法等に関する高度な技術的検討が必要なことを確認



【新設2号トンネル】

- ・ 葛老山トンネル(野岩鉄道)と導水トンネル(ダム)と2つの既設トンネルと1D程度の離隔となり、通常必要な2Dに比べ非常に近接した交差となる



○今後の進め方

- ◆ 新設トンネルと極めて近接施工となる葛老山トンネル(野岩鉄道)と導水トンネル(五十里ダム)の既往書類等を確認し、既存トンネルへの影響を考慮した施工方法等に関する高度な技術的検討が必要なことを確認したことから、今後、有識者を交えた委員会を立ち上げ、検討を実施していく